

肝胆膵内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	肥満合併原発性胆汁性胆管炎（PBC）患者におけるウルソデオキシコール酸開始後の肝胆道系酵素低下率に関する検討
研究機関名及び 研究機関の長 (試料・情報の管理 責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(担当科)内科学講座(肝胆膵内科)(職名)教授(特任)(氏名)中出幸臣
試料・情報の利用目 的及び利用方法	<p>〔利用目的〕 原発性胆汁性胆管炎（PBC）にてウルソデオキシコール酸を内服している患者さんを1年間調査し、肥満の有無によって血清胆道系酵素（ALP値）低下に差がみられるかを調査します</p> <p>〔対象となる患者さん〕 2014年1月から2022年1月までに原発性胆汁性胆管炎と診断されウルソデオキシコール酸を内服されている患者さん</p> <p>〔研究期間〕 研究実施承認日～2024年8月31日</p> <p>〔利用方法〕 患者さんの病理検査所見データと血液検査結果を使用する。通常診療において、普段の外来で確認されていること（血液検査）と同様であり、患者さんがウルソデオキシコール酸を開始された時点までさかのぼって調査をさせていただきます。研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できますので、ご希望の方は下記問い合わせ先まで電子メールまたは文書でご連絡ください。</p>
利用又は提供する試 料・情報の項目	情報：治療開始時の臨床所見、病理検査所見および血液検査所見など
試料・情報の提供を 行う機関の名称及び その長の氏名	非該当
提供する試料・情報 の取得の方法	非該当
提供する試料・情報	非該当

を用いる研究に係る研究機関名・研究責任者名	
利用する者の範囲	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2024年3月31日までに下記問い合わせ先まで電子メールまたは文章で申し出てください。
問い合わせ先	<p>愛知医科大学 医学部内科学講座（肝胆臍内科） 担当者：（職名）教授（特任）（氏名）中出幸臣 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線23480） 電子メール ynakade@aichi-med-u.ac.jp</p>